

東日本大震災 関連情報（第 21 報）

平成 23 年 9 月 12 日
全国老人クラブ連合会

●東日本大震災に関する、老人クラブ関連の情報をお伝えします

1. 避難先で村老連役員会「会員のつながりの拠点になろう」〔福島県 飯館村老連〕
原発事故により避難している飯館村では、避難先の福島市内湊泉荘において 8 月 8 日に村老連役員会を開催。「県内各地で避難生活を送る会員同士のつながりの拠点になろう。今後も連携を密に活動を展開しよう」と誓い合いました。
(詳細は別添「福島民報」参照)
2. 福島県から他県への避難者は約 5 万 2 0 0 0 人 〔福島県老連提供〕
福島県から原発事故等により他県へ避難している人数は 51576 人（8 月 22 日県発表）。前月より 2600 人余増えている。（県別人数は別添 避難者数一覧参照）

●支援活動

1. 岩手県老人クラブとの交流事業の実施 〔秋田県老連〕
秋田県老連では、被災した岩手県内市町村老連の会員を招待する交流事業を、県補助を得て、県内 1 2 か所において実施します。今年度の計画は別紙のとおりで、1 泊 2 日の日程で 1 か所 2 5 名を上限に招待して、現地老人クラブと交流しようというものです。第 1 回の実施状況が新聞にとりあげられましたので添付します。
2. 元気袋の記事紹介（新聞記事添付） 〔熊本県老連、京都府老連、徳島県老連〕
特に京都府の記事は、元気袋に対する礼状を取り上げています。
3. 被災者にカレンダーを届けるプロジェクト 最終報告
全老連において関連団体・企業、都内美術館の協力を得て実施した、カレンダーを届けるプロジェクトは、2 万 2 5 5 6 本が集まり、各県老人クラブや関連団体のご協力により、次の 3 県に送付しましたので報告します。県別数は次のとおりです。
・岩手県 5 1 6 5 本 ・宮城県 1 万 6 1 2 本 ・福島県 6 7 7 9 本
また、岩手県老連におけるカレンダー配布の様子が、「いわて老連だより号外第 4 1 号 東日本大震災情報」に掲載されていますので、添付します。

4. 避難所や仮設住宅で「カラダがほぐれ、元気になる体操」

この体操を月刊『全老連』に掲載している武井正子先生が、NHK教育テレビで体操を指導、大阪府羽曳野市の老人クラブ会員6人も参加します。公開収録では、市老連会長をはじめ大勢参加され、3人の女性会員が東北を応援しようと「いきいきクラブ体操」をがんばりました。ぜひご覧ください。

○NHK教育テレビ「いきいき長寿」～揺らして伸ばしてからだをほぐす

○放送日 9月15日(木) 20:00～(30分間)

再放送 9月22日(木) 12:00～(30分間)

○出演 武井正子(順天堂大学名誉教授)、山田邦子(タレント)

大阪府羽曳野市老人クラブ会員6人(68～81歳)

奥村ヒサエ、井上圭子、葉山美雪、岡本武雄、大野静雄、真鍋忠司

○内容 ・老人クラブ会員女性3人による、老人クラブの「いきいきクラブ体操」

・からだをほぐし、床から楽に起き上がる、椅子から楽に立ち上がる
などを紹介します。